

前回 1 月 23 日の例会記録

出席の状況

会員数 55名（内出席免除 2名） 出席者数 38名 欠席者数 17名

出席率 71.70% 前々回訂正 89.09%

欠席者 原、樋口、入江、加戸、金子、笠原、川本、木本、小菅、小松原、森本、西岡、西山、槌田、横山、（塩飽）、（渡辺）

ビジター

〈岡山RC〉吉田 憲司 様

S . A . A .

岡本(和)会員：・西崎様、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

・菊井職業奉仕委員長、本日の職場訪問万事よろしくお願ひいたします。

平松会員：数多くの子どもたちに寄り添い、希望を与えてくれました西崎宏美様の卓話を拝聴できますことに、心から感謝申し上げます。

末吉会員：西崎様、本日は卓話よろしくお願ひいたします。

氏房会員：西崎宏美様、お忙しい中本日の卓話ありがとうございます。

日笠(伸)会員：昨日、瀬戸大橋カントリークラブの15番ホールで、人生初のイーグルを達成したのでスマイルします。

5件 13,000円（累計 807,000円）

会長報告

会長 岡本 和 夫

梅毒

我が国の昨年一年間の梅毒感染の報告数が4,518人に上り、1974年以来4,000人を超えたということです。岡山県内の患者数は38人で、全国的にみて約3割が女性で若い世代の増加が目立ち、20代が約半数を占めるということです。「不特定多数との性交渉など感染の可能性のある人は早期に検査を」と呼びかけています。

1492年コロンブスが西インド諸島に到達し、コロンブス隊のスペイン水夫たちが持ち帰ったという説が有力です。その後の1495年、フランスのシャルル8世が当時スペイン領であったナポリを包囲した後、フランス軍は奇妙な水痘病に襲われ、停戦を余儀なくされました。帰国したフランス軍兵士と従軍慰安婦からこの病気が広がり、ヨーロッパの国々では「フランス病」、フランスでは「大水痘」と呼びました。1530年イタリアの医師ジロラモ・フラカストロが「シフィリス、またはフランス病」というタイトルの詩を出版し、以来この病気には Syphilis という言葉が使われています。

梅毒は3段階で進行していきます。最初は局所の膿瘍、第2段階は、この膿瘍が治り数週間経ってから吹き出物が現れ、発熱、痛み、疲労を伴っていきます。第3段階は、ほとんど 症状のない長い潜伏期間の後にくる最悪の症状で、多臓器や神経系も侵して死に至ることもあります。当時最もよく使われた治療は水銀でした。ここから「ビーナス神とは一晩、マーキュリー神とは一生」の言い回しが生まれました。ちなみに性病は Veneral Diseaseといい、ローマの愛の神 Venus からきています。現在では性感染症(STD)としています。

1879年淋病を起こす淋菌が同定され、1905年にはドイツの研究者シャウディンとホフマンが梅毒下疳かららせん糸状の細菌を発見し、「透明なねじれた糸」を意味するトレポネーマ・パルдумという名前がつけられました。1905年にはワッセルマン反応という新しい血液検査が開発され、梅毒の感染を簡単に判定できるようになりました。治療はサルバルサンを経て、ペニシリンになりました。

「コンドーム(condom)」の語源について多くの人は、イギリス王チャールズ2世のために作ったコンドーム博士なる人物に由来すると考えていますが、正しくはラテン語の condere(隠す、抑える)からきています。

幹事報告

幹事 末吉 賢 多

①池上ガバナリーエレクトより、2017-18年度RIテーマが届いておりますので回覧いたします。

②日笠常信会員に、2017-18年度地区インターアクト委員会委員の委嘱状が届いておりますので、後ほど会長よりお渡しいたします。

③「盲導犬くらぶ」会報第85号、他クラブ週報を回覧いたします。

④本日例会終了後13時30分より、3F「エメラルドの間」において、「第7回IM実行委員会」を開催いたしますので、実行委員会の皆様はご出席ください。

⑤本日例会終了後、イオンモール岡山6Fスタジオ「ミルン」において職場訪問を実施いたしますので、ご参加予定の皆様はよろしくお願ひいたします。



次年度地区委員

2017-18年度の国際ロータリー第2690地区地区インター
アクト委員会委員に当クラブとして日笠常信会員を推薦し
決定いたしました。



例会プログラム

外部卓話

「子どもの貧困と子どもシェルターモモの子どもたち」

特定非営利法人子どもシェルターモモ専務理事 西崎 宏美 様

日本の子ども6人に1人が貧困

現在の日本は様々な問題を抱えていますが、その中で子どもに限ってみると、虐待通告は10万件を超え、いじめは18.5万件、引きこもりの子どもは69.6万人もいます。子どもの貧困率は16.2%で子どもの6人に1人が貧困といった状態であることが見えてきます。

「貧困」という言葉から私たちがイメージするのは紛争国などの飢餓状態ですが、これは「絶対的貧困」です。今の日本の状態は「相対的貧困」で、国民の1世帯の平均可処分所得の半分(約130万円)以下で暮らしている世帯をいいます。児童養護施設、生活保護受給世帯の子どもを入れると約350万人にのびります。この状態を放置すれば40兆円の損失になると日本財団子どもの貧困対策チームが警告を発しています。

経済的困難は排除や孤立、不安や不信、受けられるべきケアの欠如など様々な困難を生み、それが子どもから若者、大人、また次世代の子どもへと連鎖していきます。

岡山県の子どもの貧困率は15.7%で全国14位、中国5県ではワースト1位です。生活保護世帯の高校進学率は81.7%、大学進学率は29.9%。児童養護施設からの大学進学率は23.1%です。昨年、岡山県内の児童養護施設(12施設)から大学(含専門学校)への進学は6名でした。今年は4名の予定です。

子どもシェルターモモの取り組み

家庭や施設で暮らせない困難を抱える子どもたちのセーフティーネットを目的に、2008年に弁護士、児童福祉関係者などで法人を設立し、15歳から20歳までの未成年者を対象に、緊急避難先の子どもシェルターと、男子用、女子用の自立援助ホームを運営しています。(子どもシェルターの開設は全国で4番目、地方都市では初。自立援助ホームは県下では初)また、児童養護施設等退所後の若者に向けたアフターケア相談所も開設しました。

児童相談所や児童養護施設があるのになぜこうした活動が必要かといいますと、児童福祉法で定められている「児童」は18歳未満です。したがって児童福祉法で定められている児童相談所や児童養護施設の対象児は18歳未満となり、18歳19歳の未成年者は法律の隙間に位置するのです。また、児童養護施設で生活できるのは在学籍児に限られるので、中途退学した場合、中学卒業後就労する場合は施設での生活すはできません。

これまでにモモのホームを利用した子どもは119名にのびります。ほとんどが被虐待児で、学歴は中卒です。人として成長するための基本的な「人への信頼」「自尊感情」を獲得できないまま育ち、社会経験が乏しいので人と関わるのが苦手、就労が続かず、一人暮らしを始めても貧困状態が続きます。

私たちは、家庭や施設で暮らせない困難を抱えた子どもたちもちゃんと社会の一員として次の社会を担えるように成長してほしいと支援していますが、こうした子どもたちを社会全体で支えることが必要と思います。「私たちの子どもたち」という視点です。子どもたちへの社会全体のあたたかい眼差しと支援が必要です。



クラブ情報

職業奉仕委員会より

職業奉仕委員長 菊井 慎也

職業奉仕委員会活動の一環として、2017年1月23
日(月)14時からイオンモール岡山にある「OHKミル
ン」を職場訪問しました。



第7回 IM実行委員会議事録

日時 2017年1月23日(月)13:30～

場所 ホテルグランヴィア岡山3階「エメラルド」

1. 開 会 会長 岡本 和夫、司会・幹事 末吉 賢多

2. 出席者の確認 幹 事 末吉 賢多

岩本一壽 岡本和夫 末吉賢多 相原利行 堀川辰也 竹本千代子 川西熊雄 高橋峯男
岡本浩三 鴨井利典 児島正典

3. ガバナー補佐 挨拶 岩本 一壽

4. 会 長 挨拶 岡本 和夫

5. 協議事項

(1) 今後のスケジュールについて

- ・相原副実行委員長より、今後のスケジュールについての説明と、末吉幹事に対し、前回のIMの実行委員を担当した岡山後楽園RCの担当者とおぼが取れるよう要請があった。
- ・実参加のアンケートは、2月3日までに発送し、回答の締切を2月末とすることに決定した。

(2) 役割分担について

- ・プログラムの作成は、小松・鴨井・児島各委員が担当することになった。
- ・相原副実行委員長が、前回のプログラムの原稿を手配し、鴨井委員に送付する。
- ・バズセッションの準備は、堀川・入江各委員が、席次表の作成は、入江委員が担当することになった。

(3) 来賓へのご案内について

- ・ご案内する来賓を決定した。
- ・来賓へ送付する案内文の案を提示し、各来賓への依頼事項及びその締切を追記することを決定した。

(4) 司会コンテについて

- ・当日に資料を配付し、登壇される方の立ち位置等を案内することを決定した。
- ・当日掲示する看板はホテルを通じて発注するが、特に講演の演題と講師名は事前のチェックを徹底することを確認した。
- ・ガバナー事務局に対し、末吉幹事から、当日の表彰者につき確認することになった。
- ・ソングリーダーの練習も含め、今後の例会では毎回「奉仕の理想」を斉唱することを確認した。

(5) 2/11合同実行委員会について

- ・津山RCの方に、講師の紹介と、バズセッションの説明を行うことを確認した。
- ・懇親会のアトラクションの引継ぎのため、岡本(浩)会員も出席することとなった。

(6) クラブフォーラムについて

- ・当日の役割分担の資料を配付のうえ、説明することを確認した。

(7) その他

- ・次回の実行委員会を、2月20日の17:30より開催する。
- ・3月の実行委員会は、3月13日の13:30より開催することとし、被選理事役員会の日程を調整していただくことになった。

6. 報告事項 なし

7. 閉 会 副実行委員長 相原 利行

例会情報

本日のメニュー（1月30日）

玉手箱(長手箱) 鮫肝豆腐 ぽん酢ジュレ掛け 浅月刻み 瓢猪口 数の子いくら散らし
貝重小皿(八寸) 厚焼き玉子 サーモン西京焼き 筍土佐煮 茗荷酢取り 甘味
造り 鯖炙り 鮪 妻一式 県産昔醤油 焚合 鰯大根 金時人参 絹さや 針柚子
御飯 じゃこ山椒御飯 赤出汁 三種盛り 香物 三種盛り

次回のメニュー（2月6日(ヘルシーメニュー)）

魚介類の漁師風スープ仕立て 蕪とみかんのサラダ ハーブドレッシング
生姜のブランマンジェ クレマンティーヌのコンポート コーヒー パンとバター